

愛知県岡崎市、静岡県沼津市、熱海市の視察報告  
～5年後の霧島市を見据えて～

## ○視察の目的

同時期に走り出した3都市のリノベーションまちづくりの取組を、行政と民間で共有すること。

## ○視察のポイント

▼性格の異なるリノベの取組みを比較しながら参加

▼商工だけでなく都市計画、財産管理という庁内を横断して参加

▼行政のみならず民間も一緒に参加

## ○比較

	霧島市	岡崎市	沼津市	熱海市
人口（人） （11月1日現在）	124,911	374,344	193,526	36,085
面積 （km <sup>2</sup> ）	603.20	387.20	186.96	61.78
人口密度 （人/km <sup>2</sup> ）	207.08	966.79	1,035.11	584.08
人口密度比	1	4.67	5.0	2.82
性格		ハード整備も 含めた街全体 のリノベー ション	公共施設の民 間活用 部署横断型	民間のまちづ くり会社が主 導する創業支 援
担当部署	商工振興課	都市計画部局	まちづくり政 策	商工部局

## 1. やめることから始める

- (1) 本業の力がつかない一時的な集客イベント  
例. 初川納涼市、産業まつり
- (2) 問題の先送り  
例. 預託金等による利子補給
- (3) 構造的課題の解決につながらない対処療法  
例. 空き店舗補助(オーナー対策にならない)

1. 観光以外の熱海の  
価値

実は毎日900人くらいが訪来している。「熱く」

- 1.人口増に固執しない
- 2.ファン作り
- 3.欲しい人材を明確に  
=ビジョンを明確に

信頼できる関係値を  
つくりないと継続し  
ていかない

複業こそ「結果」を必要とする。自立した関係性で成り立っている



## 『変化に対応しないと生き残れない』

次世代に続く、新しい時代にあつたまちづくり

パートナーシップの出発点

- ◆ 行政（市役所職員）の改革の必要性  
… 専門性の欠如、年度会計の制約、都市経営財源の確保など
- ◆ 民の論理による機動的な施策展開  
… スピード感のある決定と柔軟な事業展開

# 信頼できる民間パートナーと 新しいまちづくりを実行する

パブリックマインドを持つ

プライベートマインドを持つ

民間  
事業者市民

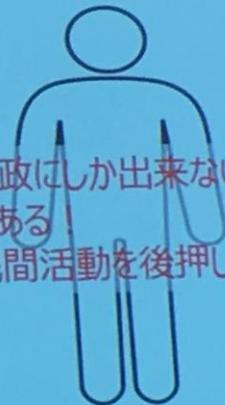
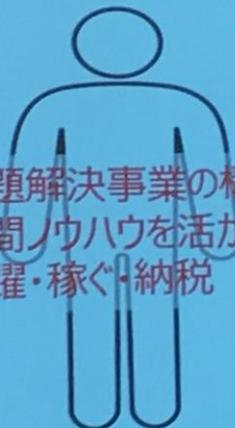
行政  
市役所職員

地域にすでにある  
コンテンツを  
活用して

課題解決事業の構築  
民間ノウハウを活かして  
活躍・稼ぐ・納税

持続的な  
都市経営をする

行政にしか出来ないこと  
がある！  
民間活動を後押し



都市計画課 有馬

3都市を見て、リノベーションまちづくりとは、  
「官民連携を促進するためのツール」であると感じた。

リノベーションスクールなどのワークショップや会議などを通して、官と民がまちづくりやまちを良くするための方策等を考えることで関係性が生まれ、後々市が行う施策に民間からの協力が得られやすくなったり、民間が行おうとしていることに行政がサポートを行ったりと相互にまちづくりへのいい流れができていた。

今年度実施している戦略会議及び来年度以降実施するリノベーションスクールやワークショップを通して、  
民間の方々の良い関係性を作り上げて、素晴らしい霧島市のまちづくりへ繋げていきたいと感じている。

○視察を通じて・・・

3都市ともに、自ら稼ぎながら動く民間事業者と、  
覚悟と自信を持って動く行政職員がいて、  
その両者が慕い合い、各種プロジェクトを進めている

やり方に正解がないからこそ、  
街の資源（ヒト・モノ・コト）をフル活用し、  
仮説（ビジョン）を立てて、  
これだと思ったことを、  
民間と行政が一緒になって、  
トライし続けることに意味がある。

戦略会議は

- ・「官と民の関係性」の構築
- ・「霧島のファン（人材）」を増やすための仮説（ビジョン）づくり